

本市のがん検診の受診率が指定都市・中核市の中で第1位になりました

本市のがん検診受診率は、指定都市や中核市の中で、国が推奨する5つのがん検診（胸部、胃、大腸、子宮頸、乳）全てにおいて、受診率が第1位となっています。

1 概要

本市では、実施しているがん検診などを平成24年度から無料化するとともに、検診対象者への受診シールの郵送、休日集団検診や女性医師による婦人科検診日の設置など、検診受診率向上への各種取り組みにより、がんの早期発見・早期治療を推進しています。

厚生労働省が今年3月に発表した直近データである平成29年度実績では、本市は、指定都市や中核市などの大規模都市群の中で国が推奨する5つのがん検診全てにおいて、受診率第1位という成果をあげており、市民のがんによる死亡の減少と健康増進に貢献しています。

なお、当該成果は、前年度（平成28年度）実績においても同様です。

※ 指定都市：横浜市、さいたま市など、政令で指定される人口規模が50万人以上の市。全国20市。

※ 中核市：高崎市、川崎市など、政令で指定を受けた人口規模が20万人以上の市。全国48市。

(H30.3末時点)

2 がん検診実績（受診率）

◎各種がん検診受診率（地域保健・健康増進事業報告）

区分	胃		肺		大腸		子宮		乳	
	国	前橋市	国	前橋市	国	前橋市	国	前橋市	国	前橋市
H29	8.4%	22.7%	7.4%	16.3%	8.4%	15.6%	16.3%	25.6%	17.4%	28.4%

※国数値は全国平均値。

※国の「がん対策推進基本計画」及び「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき、がん検診の受診率の算定対象年齢を40歳から69歳（「胃がん」は50歳から69歳、「子宮頸がん」は20歳から69歳）までとしています。

3 その他

今年度の検診受診期間が令和2年2月末までとなっていることから、引き続き受診啓発を行っており、更なる検診受診率の向上に努めています。

また、がんによる死亡を減らすためには、検診受診率の向上とともに、「要精密検査」と判定された方の「精密検査受診率」の向上を図ることが重要です。

現在では、検診受診率の更なる向上へ向けた取り組みとともに、精密検査未受診者に対する受診勧奨の取り組みを積極的に行っています。

4 参考（添付）資料

【抜粋】平成29年度地域保健・健康増進事業報告の概況（厚労省2019.3.13発）

【抜粋】平成28年度地域保健・健康増進事業報告の概況（厚労省2018.3.7発）

担 当 健康増進課 健康づくり係
電 話 027-220-5784